

(事例5) 53歳男性、水質検査、肺がん多発転移のため負荷軽減目的で重労働禁止

類型	症候	疾患
1	7. 肺がん後化学療法中	5. 肺がん

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 <b>53歳 男性</b></p> <p>2) 業種、作業内容 <b>水質検査</b></p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 肺がん (脳転移・再発後化学療法中)</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 要就業制限 治療継続のこと。過重労働、重労働は避けてください。現在行っている業務 (監視、サンプリング、分析) には支障ありません(念のため主治医に確認中)。</p>		
<p>4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>産業医引継ぎ後、健康診断にて上記病歴を確認したため面談した。定期的に数日入院しての化学療法中であり、主治医とも文書でコミュニケーションをとり、また作業場所確認したうえで負荷軽減目的に就業制限を設けた。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>ご本人は就業に前向きであり、職場も受け入れの体制を整えていた。 その後数クール抗がん剤治療を受けられたが、入院中脳梗塞・誤嚥性肺炎を起こし永眠された。</p>		